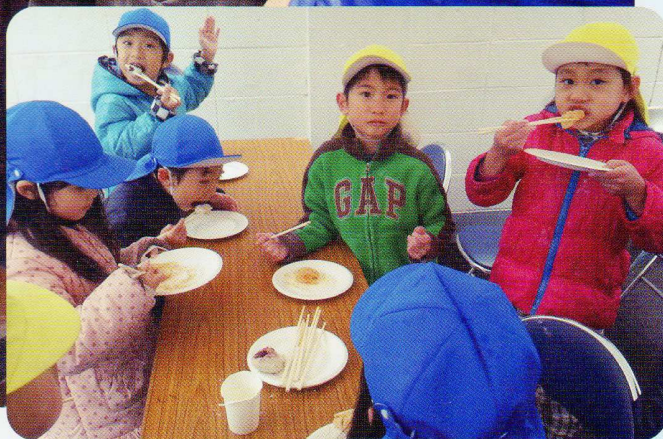




つわの

12月定例会

議会だより



昨年12月27日 町内で行われた餅つき行事に参加した幼花園児

平成25年 第11回 12月定例会

- 議長新年あいさつ 2p
- 一般会計補正予算 3p
- 条例の制定・廃止・一部改正 4p
- 第8回～第10回臨時会 5p
- 一般質問 6p～11p
- 請願審査 11p
- 賛否表・編集後記 12p

No. 33 (2014)

平成26年1月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：津和野印刷



新春を迎えて

津和野町議会

議長 滝 元 三 郎

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中はわれわれ議会に一方ならぬご指導ご協力をいただきました。誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は2020年の東京オリンピック開催決定や、私も津和野町の重要伝統的建造物群保存地区指定などの将来に向けて希望を抱かせる明るいニュースもありました。

一方では、なんといっても7月28日の豪雨災害を思い起こさざるを得ません。県境付近を中心に、かつて経験したことのない豪雨に見舞われ、行方不明者をはじめ家屋の流失、崩壊、床上浸水、農地の流失等、激甚災害に指定されるほどの大きな被害を受けました。また、JR山口線の不通や、風評被害等による観光産業への影響も極めて大きなものがあります。ここに改めまして、被害を受けられた皆様に心からのお見舞い

を申し上げるとともに、全国各地の皆様方から多くの激励やお見舞いを頂きましたことにお礼を申し上げたいと思います。

国においては、経済の先行きに明るい兆しが見られるものの、TPP交渉、農業政策の転換、消費税増税等々、地方にとって不安を抱かざるを得ないことも多く見受けられます。

そうしたなか、我が津和野町においては、災害からの復旧、復興に最優先に取り組まなければなりません。同時に定住対策、子育て支援、地域医療、集落支援等々課題は山積をしております。

下森町政も2期目となり、先般、島田副町長も就任されました。大いに期待しているところでございます。

地方分権改革を進めるうえでも、我々議会の役割、責任はきわめて重大になってまいります。皆様の声やお気持ちをしっかりと受け止めて、議会本来の役割を果たすべく、進んでまいりたいと新春にあたり決意を新たにしております。

最後に町民の皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

平成26年 元旦

平成25年度 12月議会一般会計補正予算

【注目】 基金が枯渇する恐れのある国民健康保険特別会計へ一般会計より4000万円の繰出し、災害復旧に向けての予算を可決した。

【歳出の部】

(▲＝減額)

・総務費

工事請負費 日浦集会所飲料水供給施設整備工事 299万円
負担金補助及び交付金 鷗外旧居前バス待合所の設置工事補助金 159万円

・民生費

一般被保険者療養給付費の増等による国民健康保険特別会計拠出金 4000万円
放課後デイサービス利用者の増による障がい児給付費 246万円
津和野幼稚園保育士等処遇改善事業費補助金 154万円
行方不明者に対する災害弔慰金 250万円
災害見舞金 29万円
生活保護費扶助費 生活扶助対象者増による介護扶助 510万円
生活扶助対象者増による医療扶助 1420万円

・商工費

町家ステイ事業への備品購入費 200万円

・教育費

日原山村開発センター学校用途変更工事 384万円
青原小学校仮設校舎等リース料 ▲2617万円
青原小学校児童数増に伴うスクールバス購入費 318万円

・災害復旧費

工事請負費 農地農業用施設災害復旧事業 4億6660万円
激甚災害に伴う測量業務委託料 9576万円
JR白井トンネル普通河川災害復旧工事 4000万円



【歳入の部】

・分担金及び負担金

農地農業用施設災害復旧工事に伴う受益者分担金 2984万円

・災害復旧費国庫負担金

豪雨災害に伴う農地農業用施設災害普及費負担金 3億258万円

・国からの地域の元気臨時交付金2次割当分

2850万円

・使用料及び手数料

災害による入館者数減に伴う森鷗外記念館使用料 ▲492万円
災害による入館者数減に伴う安野光雅美術館使用料 ▲450万円

・財産収入

安野光雅美術館館外展グッズ売上増に伴うミュージアムグッズ売払収入 590万円

・寄付金

寄付者の増によるふるさと納税 215万円
災害寄付金 363万円

条例の制定・廃止・一部改正

(賛否表は12ページに掲載)

◎へき地保育園設置管理条例の廃止

〔可決〕

左燈へき地保育園の休園を取りやめ廃園する。

▼反対意見

・左燈へき地保育園の廃園が左燈地域のまちづくりに結び付かない。

(三浦)

▼賛成意見

・休園からすでに6年が経過し、施設も老朽化している。公的資金の援助も見込めないので廃園に賛成する。

(京村)

◎職員の旅費に関する条例の一部改正

〔可決〕

災害復旧のための派遣職員用に現行の旅費支給規定に「移動料、着後手当、扶養親族移動料及び日額旅費」を加える。

◎介護保険条例の一部改正

〔可決〕

条例の附則に延滞金の割合等の特例を加える。

◎後期高齢者医療に関する一部改正

〔可決〕

条例の附則に延滞金の割合等の特例を加える。

◎簡易水道事業給水条例の一部改正

〔可決〕

来年4月からの消費税率8%実施に伴い加入分担金と水道料金を改定する。

口径13mmの場合、加入分担金3万2400円。同13mmの基本料金864円。従量料金(1mから10mまで、1mごとに)97・2円

◎公共下水道使用料条例の一部改正

〔可決〕

来年4月からの消費税率8%実施に伴い使用料を改定する。

「基本料金」量水器口径13mm(小口)の場合1620円。同25mm(大口)5400円。従量料金(1mから5mまで、1mごとに)32・4円

◎農業集落排水施設使用料条例の一部改正

〔可決〕

来年4月からの消費税率8%実施に伴い使用料を改定する。公共下水道使用料と同額。

◎一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の制定

〔可決〕

高度な専門的知識経験を有する者を任期を定めた職員として採用するための条例。今回は災害復旧要員として土木職員を募集する。任期は3年間。

◎町議会委員会条例の一部改正

〔可決〕

総務常任委員会と経済常任委員会を総務経済常任委員会とし、所管課を総務財政課、税務住民課、つわの暮らし推進課、建設課、商工観光課、農林課に改める。

文教民生常任委員会から税務住民課の住民係、人権同和対策係を外す。

議会運営委員会の定数を「7人以内」から「5人」とする。これらの改正は26年5月1日から施行する。

◎地酒で乾杯を推進する条例の制定

〔可決〕

提出者 川田 剛
賛成者 板垣 敬司

町の伝統産業である地酒による乾杯の習慣を広めることにより地酒の消費拡大、生産者の意欲の高揚及び地酒の普及を通じた日本文化への理解の促進に寄与することを目的とする条例。

▼反対意見

・条例で飲酒を推進することには反対である。

(岡田)

・条例に違反すると町に抗議等が来て、町が責任を持つことになる。

(道信)

・飲酒は個人の嗜好である。

(小松)

▼賛成意見

・当町では地酒は6次産業の最たるものである。以前から津和野にこだわった酒造りが行われているが、この機会に津和野の地酒を意識し啓発することが必要である。

(板垣)

・農家や造り酒屋、お酒の愛飲家など関係者が条例制定を強く要望している。

(村上)

・町の大きな産業である造り酒屋を今後も維持してもらいたい。今後、無くなるとすれば観光にも影響を及ぼす。

(米澤)

臨時議会

(賛否表は12ページに掲載)

◆第8回(10月31日)

◎25年度一般会計補正予算(第5号)

【可決】

青原小学校建設関係予算1億5621万円の減額を含む総額1億5760万円を減額。補正後の予算は84億4644万円となる。

◎青原小学校校舎解体工事請負契約

【可決】

- 契約の相手方 堀建設(株)
- 契約金額 7560万円
- 契約の方法 随意契約

▼反対意見

入札の公正な手順を踏んで、粛々と競争入札を行うべきである。

(青木、川田、竹内、後山)

・正規手続き入札でも何ら影響はない。高額の随意契約はやるべきではない。(沖田)

▼賛成意見

・子どもたちを1日も早く青原小学校に返すべきである。校舎の解体が遅れると26年度内

の新校舎建設も確保できなくなる。(岡田、板垣、道信)

・激甚災害を受けた当町にとつては財政的に困難な時である。随意契約をすることで経費が削減されるならばやむを得ない。(村上)

・本件は地方自治法施行令に定められた緊急事態と認められる。(三浦)

・東日本大震災、東京五輪や県内外の災害により今後益々建築資材などが不足、高騰が予測されるので早期着工に賛成する。(米澤)

◆第9回(11月5日)

◎感染症外来施設をめぐる訴訟の控訴の提起

【可決】

- ・当事者 控訴人(第1審被告) 津和野町 被控訴人(第1審原告) A社

◎非常勤職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

【可決】

津和野高校の魅力化、活性化を考える有識者会議の委員報酬。出務1日につき7300円を加え、委員には首都圏在住の津和野高校卒業生を中心に5人を委嘱。

◎林地崩壊防止事業分担金徴収条例の一部改正

【可決】

題名の「林地崩壊防止」を「林地崩壊対策」に改め、受益者負担を現行の10%から町負担額の5%に引き下げる。

◎25年度一般会計補正予算(第6号)

【可決】

災害復旧費7億3996万円を含む総額8億1212万円を増額。補正後の予算は92億7657万円となる。

◎25年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

【可決】

施設整備費110万円を減額。補正後の予算は37億7956万円となる。

◆第10回(11月25日)

◎副町長の選任

副町長に島田賢司氏(54歳、森村)の選任に同意する。同氏は前総務財政課長。任期は12月1日から4年間。

◎町監査委員の選任

町監査委員に水津正氏(65歳、高峯)の選任に同意する。同氏は2期目で任期は12月6日から4年間。

◎町教育委員会委員の選任

町教育委員会委員に賤間至宏氏(70歳、後田)、前田宏氏(55歳、枕瀬)の選任に同意する。両氏とも2期目で任期は12月6日から4年間。

◎町選挙管理委員会委員及び同補充員

選挙管理委員
山下 淳氏 (75歳、中曾野)
大羽 博氏 (74歳、寺田)
平野政子氏 (67歳、枕瀬)
森元 眞氏 (65歳、枕瀬)
同補充員
下森 保氏 (74歳、中座)
井筒一洋氏 (72歳、青原)
桜井幹雄氏 (66歳、邑輝)
大庭次雄氏 (66歳、左鐙)

(任期は12月19日から4年間)

定住と雇用を推進せよ

*定住対策

問 改めて定住対策の考え方を問う。

町長 U・イターナーを増やすことも必要であるが、今住んでおられる住民の皆さん誰もが暮らしやすいまちづくりを進めることが最も重要である。

今後は、現在設置している「定住プロジェクトチーム」を中心に、各課の情報共有と各分野横断の定住促進施策の立案を図り、定住施策を展開していきたい。

*雇用受け入れの促進

問 既存の就農支援は独立し農業を個人で営むことを目指したものであると認識している。

今後は「農家を目指す」から「農業に就職する」という考え方で定住支援をする必要があると考える。農事組合法人の組織力強化、生産加工技術の向上により、新たな雇用が生まれるのではないかと。

TPPや減反政策の見直し、株式会社による農業参入の規制緩和などがあり、直面



川^{かわ}田^だ剛^{つよし}議員

する現実には後継者不足や耕作放棄地の増加など、課題が多々ある。農業政策が大きく変わろうとしている中、就業支援について「雇用を生む施策」が必要ではないか。

町長 近年、イターナーを希望する方々は、農業を営む仕事を求めて来られる方が多く、農林課としては就農支援に力を入れている。

就農された方々の中には、有機農業や自然農法を目指す方も多く、組織を作って生産・販売を拡大されている。

議員が提案の「農業に就職する」という考え方は、企業的な考え方をもち農事組合法人やフロンティア日原などの会社が、規模拡大のために雇用を求めれば可能になるかと思う。

加工技術の導入を町が主体となつて進めることにより、生産物の付加価値を高め、後継者や新規就農者の経営を助けることになるのであれば積極的に導入を進めたい。

検討より実施を急げ

*平成26年度予算

問 今年の大災害を受けて、来年度は災害対策を最優先にしなければならぬが、通常の業務を軽減することはできない。予算編成においてどのような視点で望むのか。

町長 現段階では国における来年度の地方財政計画が不透明であり、消費税引き上げが決定されその増額が見込まれる一方で地方交付税の減額が見込まれる。また、一般財源の大幅な増収が見込めないことからこれまで以上に経費の削減に努めるとともに事業によつては縮減、廃止や代替なども検討する必要がある。併せて、子育て支援をはじめとした様々な定住施策の充実強化に取り組んでいく。

*雇用対策

問 人口減少が加速する当町にとって働く場の創設が急がれる。森林資源を活かした雇用の場の検討はどの様になっているのか。

町長 森林資源を活かした雇



青^{あお}木^き克^{かつ}弥^や議員

用の場を作るため木質バイオマス発電の可能性を検討した。島根県では松江市と江津市に木質バイオマス発電所が決まり、木質チップの供給者となる生産業者は、生産規模を拡大する準備に取り組んでいる。しかし、高津川流域の木質燃料を全て江津市の発電所に供給したのではこの流域の発電所計画に影響するため素材生産者との協議と対応を検討している。現在、木質バイオマスのガス化発電の試験プラントの誘致を検討している。

*サイン計画

問 観光客や町の案内看板などの設置をする計画が策定されているのに実施が遅れているのはどうしてか。

町長 歴史的風致維持向上計画の補助事業を活用して平成26年度から整備する。そのため今後現場の位置や用地所有者の確認、事業費の算定を行う予定である。しかし、ほとんどが一般財源での対応となるため制約が生じる。

日本一の島根わさびと中四国農政局長賞受賞の地産地消給食

*農業後継者育成



岡 田 克 也 議員
おか だ かつ や

問 生産者の高齢化による生産量の減少で、味では日本一と言われる程の高評価を受ける島根わさびも産地として危機的状况にある。そのような中、26歳の若者がテレビ局の仕事辞め、わさびの研修に來ている。Ｉターンで就農する場合も農地もなく、町が確保して新規就農者に貸与する等の策を考えるべきでは。また、豪雨災害や耕作できなくなった土地にビニールハウス団地等を建てて貸与すべきと考えるが。

町長 荒廃しないように管理されている農地をＩターン者に紹介したい。町で農地の所有は不可能なので、農地を所有できる農事組合法人に支援したい。被災地区の法人等が提案された場合は支援を検討したい。

*学校給食の地産地消と充実

問 日原共同調理場の作った給食が2年連続で学校給食甲子園の島根県代表となった。

また今回、第6回地産地消給食等メニューコンテストで中四国農政局長賞を受賞した。メニューは、児童自ら地元食材を調べて考案した「日原ふりかけ」をかけた「日原まるごとごはん」や、うずめ飯から考えた「うずめ汁」、名産の里芋や栗を使ったコロケ等、地元食材を使った給食である。地元食材の安定仕入のためには、生産者との連携が必要と考える。4月には消費税が増税となり、食材の高騰が予想され、支援が必要と考えるが。

町長 地元・観光客に好評の「まるごと津和野マルシェ」の「100%津和野食材」を生産者が直に提供するシステムを活用し、学校給食用野菜生産グループとの関係も考慮しながら、地産地消給食の充実を図りたい。消費増税は給食費の値上げにつながることで予想される。来年度予算編成に向け対応を検討する。

豪雨災害後のまちづくり

*まちづくりと休眠資産活用



京 村 まゆみ 議員
きょう むら まゆ み

問 災害により多くの大木が流出し、森林の保全管理の必要性を強く感じた。雇用の場確保と休眠資産の有効活用に向けて現行の事業などをどのように展開していく考えか。

町長 林地残材に価格がつき、間伐材の搬出だけで雇用が生まれる可能性が出てきた。バイオマス発電など林業の将来への可能性は高いと考えており、来年度事業に人材育成事業を加え、林業施策を具現化したい。

*まちづくりと住宅配置

問 若者向け定住住宅の建設地区が要望を出した3地区全てを選定されたが、まちづくりに向けて3つの地区の集落の具体的な位置づけを問う。

町長 集落の維持活性化を図る目的で、建設地の選考は高齢化率、若年層率、地域バランスなど総合的に判断することとしているが、今回は27年10月1日の国勢調査を視野に、申請のあったまちづく

り委員会を全て選定した。若い世代のU・Ｉターン者が地域との良好な関係を築き定住につなげたい。入居募集について「自治会に加入し、地域活動に積極的に参加できるもの」という資格要件を加える。

*まちづくりと学校配置

問 若者定住住宅には小学生以下の子どもがいるという条件がある。住宅配置と学校配置の関係をどう考えるか。人数バランスを考え校区を見直す考えはないか。

教育長 町全体で距離や人口等の要因をもとに校区を設定している。本事業は、町内にできるだけ多くの定住が図られるよう計画した事業で、今回たまたま小規模小学校区と重なったものの、つわの暮らし推進住宅配置と学校配置の直接的な関係はない。町内どの学校も少ない人数なので、校区を分ける形の見直しは考えていない。

平成26年度予算編成


 うしろ
やま
山 幸次 議員

*平成26年度予算

問 町長2期目の就任で新規に島田副町長ともに新体制で26年度の予算編成に取組まれるが、7月の未曾有な激甚災害で多大な被害があり、復旧予算の枠組も大変と思われる。

地方交付税等の依存財源に左右される町財政状況にあり、28年度より合併特例加算分の段階的減少が始まる。

少子高齢化は更に拍車がかかり、自主財源の増額は難しくなる。

基金の取り崩しが始まれば、基金の枯渇が懸念される。

そこで、枠配分方式の弊害と総合振興計画の補助事業の評価結果について問う。

また、予算編成に対する影響についてはどうか。

町長 来年度重点施策は定住対策、子育て環境整備に特に力を入れたい。

一般財源は指摘の通り増収は望めず、一般財源枠配分方式で当初予算編成に臨んでいきたい。

合併による地方交付税の算

定替特例期間が28年度より段階的に減額されることになり、当町の財源状況は依然として厳しい状況が続くと思う。

行政評価制度実施と予算編成への影響については豪雨災害復旧等の対応により、スケジュール通りの実施は困難であり、今年度はすべて見送りとした。

*重要伝統的建造物

問 重伝建の地区説明会の文書が配布されたが、急に日程が延期された。

理由について問う。

町長 所有者と条件等の内容は共有できたと判断し説明会の案内をしたが、所有者が弁護士と相談され、書面確認まで至らなかったものでやむなく延期した。

【その他の質問】

● 藩校養老館整備

● 青原小学校

下森町政2期目への提案


 かわ
だ
河 田 隆資 議員

*所信表明

問 1期目の反省点を問う。また、反省を踏まえどのような改善するのか。

町長 人口減少に歯止めをかけられなかった。財政の健全化が最優先であり思い切った施策が打てなかった。健全化の目標を達成した今、住環境の整備、仕事の確保、福祉・医療・教育の充実等の対策を施す。

問 1期目も2期目も住民協働のまちづくりを強調されている。町長が地域の集いに時間の許す限り出席されることは住民の思いを肌身で感じるためには非常に良いことであると思うているが、住民協働のまちづくりの議論の場は議会だと思ふ。議会とのかかわりをどのように思っているのか問う。

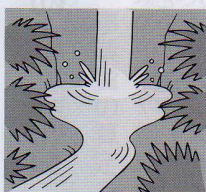
町長 私が唱える住民協働のまちづくりとは、住民が行政ばかりに頼るのではなく住民自らが地域の問題解決へ取り組んでいただきたいとの思い

からである。

その活動に対して町は惜しみない協力を約束するというものである。

問 次に、全員協議会において情報の提供は積極的に行われているが、大事なものは議案作成のおり（予算化する前に）議会との議論が必要だと私は考えているが、どのように考えているか問う。

町長 基本的には議会運営の問題であると思われる。議員全員の共通理解のもと議会で決定された正式な場であれば否定することは出来ないと考ええる。その際、執行部による議会への反問権による質問が認められるか条例等の課題もある。



災害復旧は生命や住宅の安全を守る工事を優先に



竹内 志津子 議員

*災害の復旧・復興・支援

問 復旧工事費は災害全体の何割か。優先的に行う工事と今後の復旧・復興の計画は。生活再建の支援は届いているか。後年度に繰り越し、または中止される今年度事業は何か。

町長 国の災害復旧決定通知書は届いていないが、情報では査定額の8割程度と聞いている。

公共土木施設災害復旧工事関係の順位は(1)人命や住居の安全確保のために必要な工事(2)他の災害復旧工事を実施するために必要な工事。

農地・農業施設工事は(1)町公共土木施設災害復旧工事に隣接する工事(2)激甚災害箇所の早期復興に必要な工事。

生活再建支援の、災害弔慰金、災害障害見舞金は早期に家族へ渡したい。町災害見舞金は申請のあった被災者には渡している。

その他の支援制度についても手続きは済んでいるが、申請のない被災者については細かい支援に努める。

工事発注は1月下旬から2月上旬頃を目標にしているが、査定額の8割とすると47億円もの工事の発注をどのようにするか大きな課題である。

次年度繰越や中止は7月豪雨までに発注していない工事。青原団地ストック改善事業は、来年度に入って改修の予定で、住民への説明も実施予定。

*税・使用料の未納対策

問 年金や子ども手当からの納付や差押えは支給の趣旨から外れていると考えるが。

町長 年金債権や子ども手当の差押えはしていない。納付・分納等の約束が守られない時は、財産調査の結果等から納付能力があると考えられる場合は差押えを行っている。生活困窮等が認められた場合は救済策を講じている。

知らねばならないこと



道 信 俊 昭 議員

*鵜外記念館ガイド

問 元喫茶店を「鵜外記念館内のガイドをする人の集会所」に改修し、ガイドを希望する人の講習もすでに終わっている。

いつ動き出すのか。

教育長 災害以来入館者が激減。観光の目玉として位置づけ、早急に組織を作り、来年3月には活動を開始したい。

*公民館と連絡所

問 公民館には「教育長部局」の仕事と「町長部局」の仕事があるが、職員はどちらの命令に従うのか。

教育長 公民館は社会教育法により、社会教育施設として教育委員会の管轄。

ただ、町バス乗車券やゴミ袋の販売等、町長部局の連絡所としての役割も持つ。

問 それぞれの部局の線引きが分かりにくい。誤解と混乱を招くので、はっきりしてもらいたい。

教育長 予算の絡むものは町長部局で社会教育関係は教育

部局である。

*情報公開

問 「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」がある。

それを基に津和野町は「情報公開条例」を定めた。目的は「より開かれた町政の推進に資する」ことである。

しかし、先に開かれた全員協議会を「秘密会」とした理由を問う。

町長 町民に信頼される透明性のある開かれた行政を推進していきたい。

しかし、プライバシーの侵害や事業者の権利利益を損なうものは非開示とする。

今回の秘密会は裁判に影響すると考えたからである。

*SLの開通の目的

問 SL開通の目的は。

町長 多方面に要望をした。来年度内の出来るだけ早い段階での再開を目指している。

急がれる災害復興

*災害復興

問 災害復興の進捗状況はどのようなのか。

町長 豪雨災害の災害復旧工事に取り掛かるための査定は12月25日に終了する予定で、査定期間は、4ヵ月にも亘った。最終的な被害査定額は約21億円の見込みである。

本格的な災害復旧工事の発注は年明けになる。

問 河川被害ですぐに工事に入れない箇所は二次被害を防ぐために、土のうなどを入れる考えはないか。

町長 今後の発注工事量を考えた場合、中途半端な対応は本格的な工事を遅らせることから、調査したうえで対応を考えている。

*学校問題

問 本部中学校の廃校後利用について、6月議会で質問したが、その後の進展はあったのか。

教育長 現校舎の耐震工事が町としての財政負担が少ないことから、小学校の転用は考



村 上

かみ ひで
英 喜 議員

えてない。屋内運動場は地域体育館として利用を考えているが、校舎については地域から具体的な案がないとすれば、今後は地域を広げ広報による公募や、文部科学省が開設している「未来につながるみんなの廃校プロジェクト」への登録を考えている。

問 本部小学校の耐震審査は進んでいるのか。また、耐震工事の計画はあるのか。

教育長 現在、耐震補強計画の設計業務を進めている。補強計画は、判定委員会の認定を受けて耐震工事を行う計画である。

*農林行政

問 来年の水稻の作付（減反）の割付の見通しはどうか。

町長 災害被害により、作付けが出来ない水田は10～15％と見込んでいる。来年の水稻の作付けの割合は3・3％減少となっている。

津和野高校支援・町人口増対策

*津和野高校支援

問 津和野高校は明治41年鹿足郡立高等女学校として開校し、105周年を迎えた。

しかし現在入学生の激減で統廃合の危機に面している。この問題解消のため、町営

で寮費無料の寄宿舎「つわぶき寮」を建設してはどうか。

定員64人、入寮生33人は1年の殆どを寮で生活している。

町長 県立学校寮を町が設置、管理運営するのは難しい。

問 JRやバス通学者の定期代全額補助をしてはどうか。

目に見える形での支援は大きな魅力になる。

町長 現在JR通学費の2割を補助している。

補助率は今後検討する。

問 寮生の昼食を町の学校給食センターから配食してはどうか。暖かい給食は寮の食事

魅力アップになるとアンケートで33人中23人が「なる」と

答えている。

教育長 暖かい昼食、栄養面、



米 澤

さわ ひろ
宏 文 議員

通学生保護者の負担軽減の観点で今後検討する。

*町人口増対策

問 人口増と結婚奨励、定住対策として、結婚祝い金を結婚時、5年、10年、15年目に各50万円支給してはどうか。

結婚と出生率の向上は生活設計の安定が必要。画期的な支援で町の維持を図ってはどうか。

隠岐の知夫村では結婚時100万円を支給している。

町長 奨励金交付事業のほか事業の見直しを検討しており、充実した取り組みを進めたい。

問 保育料を無料にすることでU・イターナー者の増加と子育て支援になるが。

生活の安定が子供誕生の支援になり、町の限界集落化を防ぎ、津高の支援にもなるが。

町長 県内で一番の優遇策は多額の財政負担が生じる。保育料軽減の必要性和軽減可能段階は同時進行で検討しており、新年度予算までには結論

を出したい。

山林資源を活かした地域づくり



板垣 敬司 議員

*青原小学校改築校舎木造化

問 公共建築物の木材利用促進が叫ばれている。

教育効果、地域コミュニティ活動、さらに地域経済の活性化の観点からも木造化を検討されているか問う。

教育長 木材利用については、地域住民からの要望を踏まえ設計段階で検討した。

木材は建築基準法の規制など構造部材の供給が不安定であり、建設費が1・5倍に膨らむ見込みである。

耐震などの災害にも強く、確実に工期が見込めるR・C（鉄筋コンクリート）構造での建設を進めることで、一日も早く子ども達を適切な教育環境に戻してやるのが行政の責任と考えている。

木材利用については、規制の範囲で内装などに施し、健康、教育効果が十分得られるように努力したい。

*国家戦略特区「新SL計

問 圏域にある民間企業団体

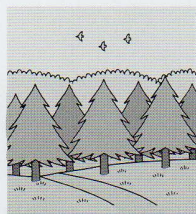
が「新しいSLを作って日本中を走らせよう」という構想を内閣府に提案した。

構想は「SLやまぐち号」に替わるSLの製造とJR西日本が5年以内に走らせようとしている「豪華寝台列車」の山口線への乗り入れがベスになっている。

このような構想を、自治体と住民が一体となって進めていくことがこれからのまちづくりに繋がると思うが、町長の所見を問う。

町長 全国で247団体、197件の提案があったと承知している。

木質バイオマス資源を活用した計画になっているが、沿線自治体や関係機関との調整のない現段階で参画の判断は難しい。



請願審査

地元産の木材の使用に関する請願



“山の宝でもう一杯、伐採風景”



“山の宝でもう一杯、現地講習会”

- ① 町内産の木材利用を優先した学校づくりを採用していただきたい。
- ② つわの暮らし推進住宅整備事業で建設される住宅については、町内産の木材、製品を使用していただきたい。

請願者

高津川森林組合

組合長 藤井貴久男

紹介議員 青木 克弥

付託 経済常任委員会

委員会審査の結果、

「県では、県産木材を生かした住宅の推進をしているし、町も流域産木材での支援事業を実施していることから採択すべきと決した。」

（採択）

提出者	第8回 10月臨時会 賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	京	村	板	竹	道	岡	三	青	斎	河	川	小	米	後	沖	結
		村	上	垣	内	信	田	浦	木	藤	田	田	松	澤	山	田	果
町長	平成25年度一般会計補正予算（第5号） 青原小学校解体工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
		●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	可決
提出者	第9回 11月臨時会 賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	京	村	板	竹	道	岡	三	青	斎	河	川	小	米	後	沖	結
		村	上	垣	内	信	田	浦	木	藤	田	田	松	澤	山	田	果
町長	控訴の提起	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	非常勤の職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	林地崩壊防止事業分担金徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度津和野町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
提出者	第10回 11月臨時会 賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	京	村	板	竹	道	岡	三	青	斎	河	川	小	米	後	沖	結
		村	上	垣	内	信	田	浦	木	藤	田	田	松	澤	山	田	果
町長	津和野町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	議長において指名推薦															
	津和野町副町長の選任	無記名投票 島田 賢司 氏										同意					
	津和野町監査委員の選任	無記名投票 水津 正 氏										同意					
	津和野町教育委員会委員の選任	無記名投票 財間 至宏 氏										同意					
	津和野町教育委員会委員の選任	無記名投票 前田 宏 氏										同意					
提出者	第11回 12月定例会 賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	京	村	板	竹	道	岡	三	青	斎	河	川	小	米	後	沖	結
		村	上	垣	内	信	田	浦	木	藤	田	田	松	澤	山	田	果
町長	人権擁護委員の推薦について意見を求めること	清水 留美子 氏															適任
	へき地保育園設置管理条例の廃止	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	まちなか再生関連施設の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	職員の旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	簡易水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	公共下水道使用料条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	農業集落排水施設使用料条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	平成25年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度奨学基金特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度病院事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町の一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会	津和野町議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員	地酒で乾杯を推進する条例の制定	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	可決
請願	地元産の木材の使用に関する請願	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

編集後記

鯉のひとり言

私は殿町通りの、掘割の鯉である。昭和9年に吉永祐造さんに多くの友達と共に放流して頂き、津和野町の観光の一助として頑張っている。時には鯉ヘルペスで友を失い、また台風等で水路の水が止まり人間様には随分とお世話になっています。

恩返しのため掘割で産卵をして大蔭の三宅延忠さんの田んぼで3ヶ月育て頂き、公民館の中庭に帰って来ます。早く大きくなつて掘割に行き、先輩達と一緒に観光客の皆さんに和んで頂くための一助になりたいなあ。

今年の災害で津和野川の友達が34匹も掘割に戻ってきました。養老館の再建も27年度より始まり、29年は亀井公が入封されて400年になります。養老館の白い腰壁に菖蒲が映え、私たちが泳いでいる風景は津和野観光の重要拠点であります。これは私のひとり言。

後山 幸次

広報委員会

青木 克弥
後山 幸次
京村まゆみ
岡田 克也
小松 洋司
川田 剛